

令和5年度公益社団法人北谷町シルバー人材センター事業報告

令和5年度は、長引くコロナ禍の収束により社会経済活動の正常化に向けた動きが進み、インバウンド需要等の回復で景気は上向き傾向が続いたものの、一方では、不安定な世界情勢に伴う原油価格や物価の高騰が続き、経済環境においては厳しさを増した年でした。

加えて、令和6年元日に発生した石川県能登半島地震では、津波や火災、家屋の倒壊やライフラインの寸断など甚大な被害をもたらし、住民生活や経済に大きな影響を及ぼしました。

このような状況のもと、当センターにおいては高齢者の就業機会及び社会参加活動の機会を確保し、生きがいの充実や活力ある地域社会づくりを目指して各種事業の取組みを進めてまいりました。

また、令和5年10月から施行されたインボイス制度の対応に当たっては、事務費率を2%引き上げて12%に改正し財源確保に努めました。

令和5年度の事業実績としては、請負・委任事業では、受注件数は509件で前年度比4件の減となりました。契約金額は、公共事業が3.7%減少し、民間事業では11.5%増加しましたが、結果前年度比1,336,363円の減となりました。

派遣事業については、企業活動が活発化し景気回復の兆しが見えてきたにもかかわらずコロナ禍以前の状態には戻らず、契約金額、就業延人員いずれも前年度比は微増となりました。

会員数については、年間を通して会員の入会促進を図りましたが、会員の高齢化や疾病等に伴う退会者が増加したことにより前年度より7人の減となりました。

安全・適正就業については、安全・適正就業推進員による就業現場の巡回パトロールを強化すると共に、職員及び会員の安全就業等に関する研修の充実を図るなどして、安全・適正就業の意識向上に努めました。

今後も、公益法人として適正な事業に取り組むとともに、地域社会のニーズに的確に応えられるシルバー人材センターとして、事業を推進してまいります。

以下、令和5年度の事業実施概要について報告いたします。

[令和5年度事業実績]

	本年度	前年度	差異	伸び率
会員数	190人	197人	△7人	△3.55%
受注件数	509件	513件	△4件	△0.78%
契約金額	133,583,280円	134,919,643円	△1,336,363円	△0.99%
就業延人員	17,558人	17,623人	△65人	△0.37%
就業率	92.6%	86.3%	6.3%	7.30%

派遣延人員	213人	194人	19人	9.79%
ボランティア 参加延人員	263人	189人	74人	39.15%

1 有料職業紹介事業及び一般労働者派遣事業の推進

- ・有料職業紹介事業は、企業等から求人申し込みの依頼は無く実績を上げることはできませんでした。
- ・一般労働者派遣事業については、新規発注者の開拓や既発注者の掘り起こしを行うと共に、登録人員の拡大及び派遣先の確保に取り組みましたが、実績としてはほぼ横ばいとなりました。

[一般労働者派遣事業]

	令和5年度	令和4年度	前年度比較
受注件数	2件	2件	0件
契約金額	710,424円	613,008円	97,416円
就業延人員	213人	194人	19人

2 研修・講習事業の開催

就業を希望する町内の一般高齢者や会員の就業に必要な知識及び技能の向上を図ることを目的に、「刈払機取扱講習会」を開催しました。

また、連合が実施する「刈払機扱い作業安全衛生教育講座」へ、会員2名を派遣しました。

昨年度に引き続き、沖縄警察署交通対策課職員による「高齢者交通安全講話」を実施しました。今回は、これまでの座学講習のほかに、駐車場でセンターの2トン車両を使用し、運転手と助手が相互に呼称しての安全確認等の実技指導も行われました。

3 普及啓発活動の推進

センター事業の情報発信として、会報誌「シルバーだよりちやたん」を年3回発行し、会員及び公共施設等に配布しました。また、町広報誌に会員募集や講習会の案内等を掲載し一般町民への普及啓発に努めるとともに、自治会やイベント会場において会員募集や業務内容を紹介したチラシやリーフレット等の配布活動を行いました。

10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」では、町役場ロビーにおいて、「シルバー事業普及啓発パネル展」を開催し、当センターの活動写真パネルや会員の製作した工作物・手芸品の展示のほか、腐葉土の販売及び無料配布を行いました。

また、2月の「北谷町産業総合展示会」に出展し、腐葉土の販売及び無料配布のほか、会員がシルバー菜園で栽培した野菜を販売するなどして、シルバー事業の普及啓発並びに会員の加入促進活動に取り組みました。展示会で販売した野菜の売上金は、北谷町社会福祉協議会へ全額寄付を行いました。

4 安全・適正就業の推進

- ・安全・適正就業推進大会を4年ぶりに開催して会員への安全就業意識の向上を図ると共に、「元気なお口が健康寿命につながる」と題したフレイル予防対策の健康講座を実施し、健康維持についての認識を広げました。
- ・毎朝のミーティングにおいて、安全保護具の着用、飛散防止ネットの設置徹底及び機械器具や車両の点検整備など確実に実施するよう呼びかけ、安全就業の徹底に努めるとともに、特に夏場の熱中症予防対策では、こまめに水分補給と休憩をとることを周知しました。
- ・運転業務に従事する会員等の運転前後のアルコールチェックを毎日就業前後に実施して、安全運転及び飲酒運転根絶の取組み強化を行いました。
- ・県シルバー人材センター連合の安全・適正就業指導員と当センター推進員による共同での就業現場巡回指導を毎月実施し、会員の事故防止に対する安全・適正就業の意識向上を図りました。
- ・安全就業については、損害賠償事故4件、車両事故7件が発生し、前年度より5件増加する残念な結果となりましたが、引き続き安全就業に対する取組みを強化し、無事故を目標に努めてまいります。

5 調査研究事業の実施

- ・多発している刈払機の飛び石事故低減を図るため、飛び石の確率が少ない刈払機をすでに導入し実践している西原町シルバー人材センターの作業現場を訪問して、実際の草刈作業状況の見学や当センター会員による実技体験の実施、また機械導入予算やメンテナンス費用等についての調査研修を行いました。
- ・会員が希望する就業職種の調査及び健康診断受診状況並びに健康状態、スマホの保有状況等について、アンケート調査を実施しました。
会員のアンケート調査の結果については、会報誌「シルバーだよりちやたん」に掲載しました。
- ・効果的な事業運営に反映させるため、会員の就業態度や仕事の仕上がり状況等について、発注者満足度アンケート調査を実施し、発注者に提供するサービス内容の改善に努めました。

6 就業分野の開拓・拡大

- ・町が発注する公共施設の軽微な維持管理について、受注の拡大を図りました。
- ・民間事業所については、職員による町内一般家庭へのシルバー事業の宣伝チラシや会員募集チラシのポスティングを行い、就業機会の確保等に取り組みました。
- ・「一会員一事業の開拓・会員の加入促進運動月間」を設けて、会員と役職員が一丸となって事業開拓と会員獲得を組織的に取り組みました。

7 草木類資源化処理事業の推進

令和5年度は、町内で収集された草木類291トンの処理を行いました。収集された草木類については、資源化処理の一環として腐葉土の生産を行っています。

腐葉土の活用としては、町民を対象に安価で販売するとともに、各種イベント会場において小袋での無料配布や公共施設の植栽事業に無償提供するなど「草木類資源化処理事業」のPRを行いました。また、令和4年度より実施している自治会公民館での腐葉土定期訪問販売を継続して取り組むと共に、併せて会員募集等のチラシ配布を行うなどして、シルバー事業の啓発に努めました。

[腐葉土販売実績]

	令和5年度	令和4年度	前年度比較
販売数	9,598袋	9,239袋	359袋
販売金額	1,562,960円	1,478,240円	84,720円

8 相談及び情報提供の推進

- ・毎月第三水曜日に、入会を希望する地域の高齢者に対し説明会を実施し、入会の促進を図りました。

ア 入会説明会 12回 参加者37人

イ 相談・情報提供 38回

- ・シルバー事業のデジタル化の一環として、令和5年8月よりホームページにウェブ入会チャンネルを開設し、パソコンやスマホから入会説明会への参加申し込み受付が可能となり、入会促進と事務の効率化を図りました。
- ・毎朝のミーティングで、会員へ当センターの動向及び県内の拠点センターの情報等を提供するとともに、随時会員からの諸相談等も受けてきました。
- ・町広報誌や会報誌等で広くシルバー人材センター事業について、町民に情報提供を行いました。
- ・職員による町内一般家庭への会員募集チラシ等のポスティングを実施しました。

9 社会参加活動の推進

地域社会の奉仕活動の一環として、10月のシルバー人材センター事業普及啓発促進月間中に、町立3保育所において、園児や保護者、会員と一緒にプランターへの花植え作業を行いました。その後、北谷町役場前に移動して、役場周辺と町民広場の花壇及びプランターへの花植え作業や清掃活動を実施しました。

また、12月の「ちゅら島環境美化全県一斉清掃」及び「御万人すりていCGC運動」のボランティア清掃に参加し、北谷公園内の枯葉やごみ拾い清掃活動を行いました。